

東大野球部

New! メールマガジン Vol.14

ついでに

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいました
が、皆様いかがお過ごしでしょうか。野球部もオフ
まであとわずかですが、木枯らしの中を選手たちは
日々練習に励んでおります。今週いっぱいでお
入りますが、気持ちよく新年を迎えることができる
よう残り少ない日々を充実させていきたいと思っ
ております。皆様も寒い中ではございますがお体にお
気をつけて新年をお迎えください。

今年一年をふりかえって



今回は今年最後のメルマガということで、今年が
どんな一年であったか、漢字一文字で表しながら、
ふりかえっていかうと思います。東大野球部を一年
間見守ってくださったみなさまも、一緒に思い出し
ていただけたら幸いです。

1月～JAN～

始

動！年明け一週間のオフを経て、野球部の
練習が再始動しました。新体制の発足と御
手洗新監督の就任から二か月余り、練習でのチー
ムの一体感が増してきました。

3月～MAR～

合

宿！宮崎にて12日間という長い長い合宿
を行いました。少々体調を崩す選手が出る
など小さなアクシデントはありましたが、全体と
してとても充実した練習を行うことができました！

(写真↓) 名城大とのオープン戦の様



4月～APR～

春

季リーグ戦開幕！前田キャプテンを中心と
したチームの初めてのリーグ戦です。序盤
ではなかなか思うような試合を作ることができま
せんでしたが、後半ではいくつか接戦の試合にもちこ
むことができました。しかし、○勝一○敗と、結果
を残すことはできませんでした。

(写真↓) 早稲田戦で力投する前田前主将



8月～AUG～

猛

暑を吹き飛ばす猛練習！8月は京大戦、七
帝戦、鶴岡合宿と日本各地へ飛び回り、練
習と試合を重ねてまいりました。記録的な猛暑とさ
れた今年の夏ですが、選手たちの熱気には暑ささえ
も勝てなかったようです。

9月～SEP～

秋

季リーグ戦開幕！鈴木投手、木村投手など、一年生ピッチャーが好投を見せます。攻撃の決定打がでず、勝ち星は0でしたが、失点をできる限り抑え、力投した一年生に期待が集まります。

10月～OCT～

撃

破！秋季リーグ戦において、早大を破り、連敗を35でストップさせました。残念ながら勝ち点を奪うことはできませんでしたが、一年生など新戦力の台頭も見られ、来季以降のさらなる飛躍を期待させるシーズンになりました。

WASEDA	TIME 2:34	JUDGE	SBO	AV HR	TOKYO
4 渡邊 侑		2 1 三 2 2	1 1 三 2 2	1 0 0 X	9 堀 永高
8 川 松 土 野		2 0 一 0 0	2 0 一 0 0	1 0 0 0	7 6 田 中 館
9 3 7 5 2 1		H T H	H T H	1 0 0 0	3 3 内 鈴 山
西 永 生 山 大 本 丸 石		B E T	B E T	9 2 R 4 5	海 木 越
マイナビ 2012				1 0 0 X	



新

11月～NOV～

体制発足！四年生が引退し、岩崎主将を中心とした新体制が発足しました。さっそく

早朝練習をはじめとした新たな取り組みがなされ、チームが一つになってまいりました。

最後になってしまいましたが・・・

支

え。このように素晴らしい一年を送ることができたのも偏に応援してくださる皆様のおかげです。新入生が入り、新チームとして初めてのリーグ戦が始まった春。暑さに耐えながら毎日一生懸命練習に取り組んだ夏。四年生にとつては最後のリーグ戦の秋。新体制として歩み始めている冬。いつも皆様の支えがあつてこそ、私たち東大野球部はいつも元気に活動できているのだと、日々感謝しております。一年間どうもありがとうございました。そして来年もよろしくお願いいたします。

今月の注目選手！（第3回）

日比谷高校出身コンビ☆

今回は都立日比谷高校出身で新二年生になる井坂選手(投手)と飯嶋選手(捕手)を特集致します。高校の時にはバッテリーも組んでいました。そんな二人から話を聞いてきました！

東大野球部を目指したきっかけは？

井坂「小学校の時から東大に入って野球をしたいなとは漠然と思っていました。高校に入ってから現実の問題として考えると、野球を続けて、プロに行くのが目標だったので、六大学で確実に経験を積みたい、と

いうことで東大野球部を目指しました。」

飯嶋「中学の時に、父親に六大学野球に連れて行ってもらって、そこで六大学野球というものに対して憧れをもちました。その時はまだどの大学に入りたいとか、実際大学で野球を続けるのかとかは全然考えていませんでしたが、高校に入つて、野球をまじめに三年間やって、まだ野球を続けたいと思い、東大を目指しました。」

これから(バッテリーとして)やってみたいことはなんですか？

井「バッテリーとしてではないかもしれませんが、日比谷の選手が六大学野球の試合に出て活躍すること、どんだん日比谷高校の選手が東大野球部に入ってきてくれることは望むし、高校を受験する段階で、日比谷高校から東大に行くという人が増えるといい。それで野球も勉強も頑張る人が増えるのが一番の理想です。」

高校の時と変わったことは何ですか？

井「学年が一緒になったこと(笑)」
飯「学年が一緒になって、より井坂さんの事がわかりました(笑)」
井「あと、人から指導を受けることがとても多くなりました。」

飯「特にバッティングのことなんですけど、高校の時はみんな我流で、ちよくちよく言い合いはしても、あまり積極的には他人のバッティングには関心を持っていなかったのだけれど、大学入ってからいろいろ周

りからの指摘が増えたりして、そういうところが変わったなと思います。」

井坂選手から見た飯嶋選手は？

井「ムニロ自体はすごいあるけど、持っているポテンシャル、特に打撃は良いものを持っているので、それをきちんと好不調とか自分のモチベーションに関わらず常に上げていけたらよいと思う。捕手という形ではなくとも少しずつリーグ戦の試合に出て経験していき、きちんと安定して結果を残していける選手になっていこうと思います。」

飯嶋選手から見た井坂選手は？

飯「とにかく凄い人で、野球に対する考え方とか練習へのストイックさは誰も真似出来ないと思うし、そういうところは尊敬しかしていません。あと、ピッチングは最初の方は怪我などをしていて本領を發揮出来ていなかったけれど、秋のリーグでは投げてくれたし、球速もとても速いのを出して、(東大には)こういうピッチャーもいるんだぞっていうのを見せてくれました。これからもどんどん六大学で活躍してくれる良い選手だと思います。」

これからの目標を教えてください。

井「まずは春は、確実に先発で1シーズン投げたい。目標というよりも最低限の責任という意識です。その春の目標が達成できたら、先発を継続して、次は一試合目で投げていきたい。それもクリアしたら今度は、その一試合目の中で確実にゲームをつくれる、とか他

大のピッチャーと同じレベルの成績を残せるようになっていきたい。」

そうやってちよつとずつシーズンごとにステップアップして最終的にはドラフトで指名がかかるレベルまでいくなのが目標です。」

飯「次の春はとにかくどんな形でも試合に出ることが目標です。そこからどんどん経験積んでいって現在正捕手の田中さんがいる間に抜けることが出来ればそれがベストですが、そう出来なくても代替わりした時にいきなり質が下がることがないようにしたい。最終的な目標としては、ベストナインをとるところまで自分をレベルを上げていけるようにしていけたらいいなと思います。」



← 飯嶋選手(左)と井坂選手(右)

二人の熱意が伝わってくるインタビューでした。高校時代は先輩後輩の関係でしたが、今は寮で同じ部屋で先輩として仲が良いのだそうです。これからも井坂選手と飯嶋選手にご注目下さい！

編集後記

いよいよ今年最後のメルマガ配信になってしまいました。が、いかがでしたでしょうか？今年是我们たちにとって、久々のリーグ戦での勝利が非常に印象に残った年でした。リーグ戦での勝利は、喜びとともに、応援して下さる皆様の存在をより強く感じさせてくれました。来年はきっと今年よりもっと良い年にしてまいりたいと思っております。また、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023
東京都文京区向ヶ丘1-5-19 一誠寮
TEL&FAX 03(3811)5800
メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

